

様式第 9 号（第 5 条関係）



令和 2 年 2 月 1 0 日

南相馬市議会議長

会派名 志政会
代表者氏名 鈴木 昌一



調査研究報告書

1 期間 令和 2 年 2 月 7 日（金）

2 参加者 ① 鈴木 昌一 ② 岡崎 義典
③ ④
⑤ ⑥

3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

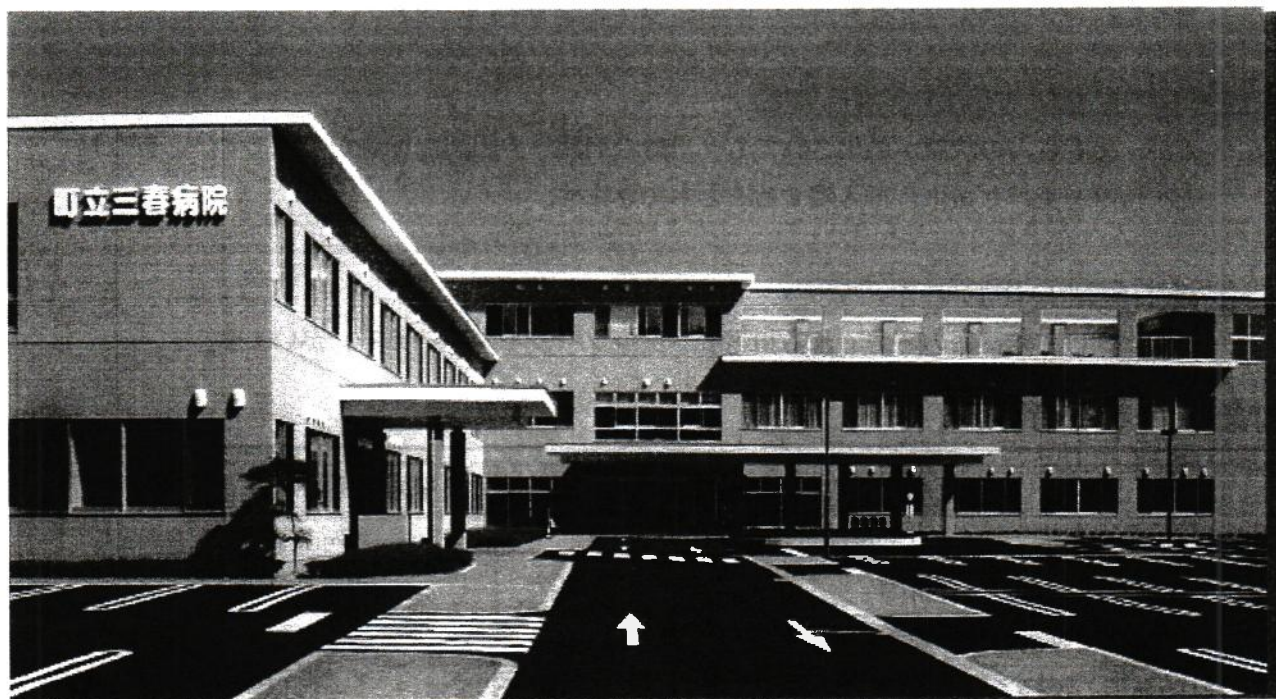
調査研究内容

月日	令和2年2月7日(金)
旅行先	福島県三春町（町立三春病院）、福島県郡山市（坪井病院）
調査研究事項	回復期リハビリテーション病棟及び院内緩和ケア病棟について
〔内容〕 南相馬市立総合病院は病床再編計画により300床の病床となりました。その中には、令和2年度に完成する回復期リハビリテーション病棟50床、令和3年度に完成する緩和ケア病棟20床があります。	
そこで、同じ県内で回復期リハビリテーション病棟を持つ三春町立三春病院と緩和ケア病棟を持つ坪井病院を視察しました。	
町立三春病院は平成19年に県から移譲を受け、三春町が設置し、郡山の財団法人星総合病院が指定管理者となっている病院で、86床の病床のうち40床が回復期リハビリテーション病棟です。	
回復期リハビリテーション病棟の特徴として、廊下の幅やベッドの間隔が広く、車いす用トイレは4つあります。杖や歩行器、手すり、手洗い場などいたるところに配慮がされています。入院患者は朝から私服に着替えて、1日3時間のリハビリを行い、食事も自室ではなく共有スペースであるデイルームまで自分で来て食べます。	
昨年12月の病床稼働率は一般60.6%、回復期リハビリテーション病棟95.3%で全体で76%。近隣の急性期病院に対して、定期的に空床案内をし、急性期からスムーズに回復期に転院してもらえよう営業活動を積極的に行うことで、三春町からだけではなく、郡山市、二本松市、田村市などからも入院患者が来ているとのことでした。	
急性期の病棟が隣にあるのですが、静まり返った急性期と、人の往来が多くあり賑やかな回復期リハビリテーション病棟との雰囲気の違いが印象的でした。	
次に、坪井病院の緩和ケア病棟を視察しました。郡山市内には、坪井病院の18床の他に星総合病院の20床と38床の緩和ケア病棟がありますが、坪井病院は1990年から福島県内初の緩和ケア病棟を開設し、治療と緩和医療で地域がん診療連携拠点病院の指定を受けています。	
坪井病院では、緩和ケア専門医、緩和ケア認定看護師、各病棟看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、作業療法士、管理栄養士、事務担当で緩和ケアチームを組み診察にあたっています。個室が8部屋、多床室が3部屋で8床の合計16床が稼働していますが、40年以上前に建設された病院のため各部屋に浴室やトイレが設置されておらず、お風呂に入れるなら入院したいという方も多いことから重要なのではないかとのことでした。	
ペットを連れてくることも可能で、24時間面会可能となっています。さらに、病院スタッフによるアロマセラピー、メイク、自分史製作などの講師として、入院患者にとって豊かな余生となるような工夫がなされていました。	

2 病院ともに大変参考になる話を伺うことができ、本市にこれから 2 種の病床が設置されるにあたり、一般質問などの機会を捉えて提言していきたいと思います。

三春町立三春病院 回復期リハビリテーション病棟のご案内

安心してご自宅で生活できるようリハビリテーションをサポートします。



回復期リハビリテーション病棟ってなに？

急性期

(発症から1ヶ月程度)
治療が中心

脳血管疾患や骨折等を発症した場合、急性期の病院において必要な検査・治療を受けます。

転院

回復期

(発症後数週間～6ヶ月)
在宅生活を目指した
リハビリテーション

この時期に集中的にリハビリテーションを行うことで、効果が期待されると考えられています。

当院では医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などがチームで病状の段階に応じ、必要なリハビリテーションを実施します。

退院

維持期

生活の維持継続のための
リハビリテーション

退院後もご自宅で安心した生活ができるよう、入院中から地域の資源（デイサービス・訪問看護サービスなど）への橋渡しや実際の利用調整を行い、連携を図っていきます。

三春病院と星総合病院の安心連携

(三春病院は星総合病院が運営しています)

～3つの安心～

1. 情報が正しく伝わる安心

- ・星総合病院入院中に三春病院スタッフが訪問します。
- ・電子カルテで情報が共有できるシステムになっています。

2. 緊急時の迅速な対応ができる安心

- ・万が一患者さんの状態が悪化されても、星総合病院への迅速な転院が可能です。必要な検査・治療を受けた後に、再入院することもできます。

3. 退院後の生活を相談できる安心

- ・退院に向けて相談にのってくれる担当者（医療ソーシャルワーカー）がいます。

対象となる患者さん

対象となる疾患	発症から転院までの日数(上限)
脳血管疾患(高次脳機能障害を含む)、脊髄損傷等	2ヶ月以内
大腿骨、骨盤、股関節などの骨折等	2ヶ月以内
外科手術および肺炎等治療後の安静による廃用症候群	2ヶ月以内
大腿骨、股関節等の神経、筋又は靱帯損傷	1ヶ月以内

入院中の一日の生活



06:00 起床・更衣・口腔ケア
行為に介助が必要な方はお手伝いします。

07:30 朝食
食事はデイルームにて提供いたします。



09:00 リハビリテーション
日常生活動作や歩行の自立などの目標に合わせて訓練室や病棟でリハビリを行います。(患者さんの状態により時間数は異なります)



12:00 昼食・口腔ケア



13:00 リハビリテーション
患者さん個々のスケジュールに合わせて訓練室や病棟でリハビリを行います(患者さんの状態により時間数は異なります)。



18:00 夕食
食事の後は消灯まではフリータイムです。
ご自由にお過ごしください。



19:00 訓練・更衣・口腔ケア



21:00 消灯

回復期リハビリテーション病棟スタッフ

医師

患者さんの診察を行い、入院中に達成できる目標を立てます。目標をもとにスタッフにリハビリテーションの指示を出します。

看護師 ケアワーカー（介護職員）

患者さんの全身状態の管理を行うとともに、食事・排泄・洗面・更衣・入浴など日常生活の行為を身に付けられようリハビリテーションスタッフと協力しながら援助します。

理学療法士

日常生活動作、特に「立つ」「歩く」などの基本的な身体機能の回復をお手伝いします。

作業療法士

日常生活動作・家事動作の獲得、また、職業能力の開発をお手伝いいたします。

言語聴覚士

発語訓練や食べ物の飲み込みの回復をお手伝いいたします。

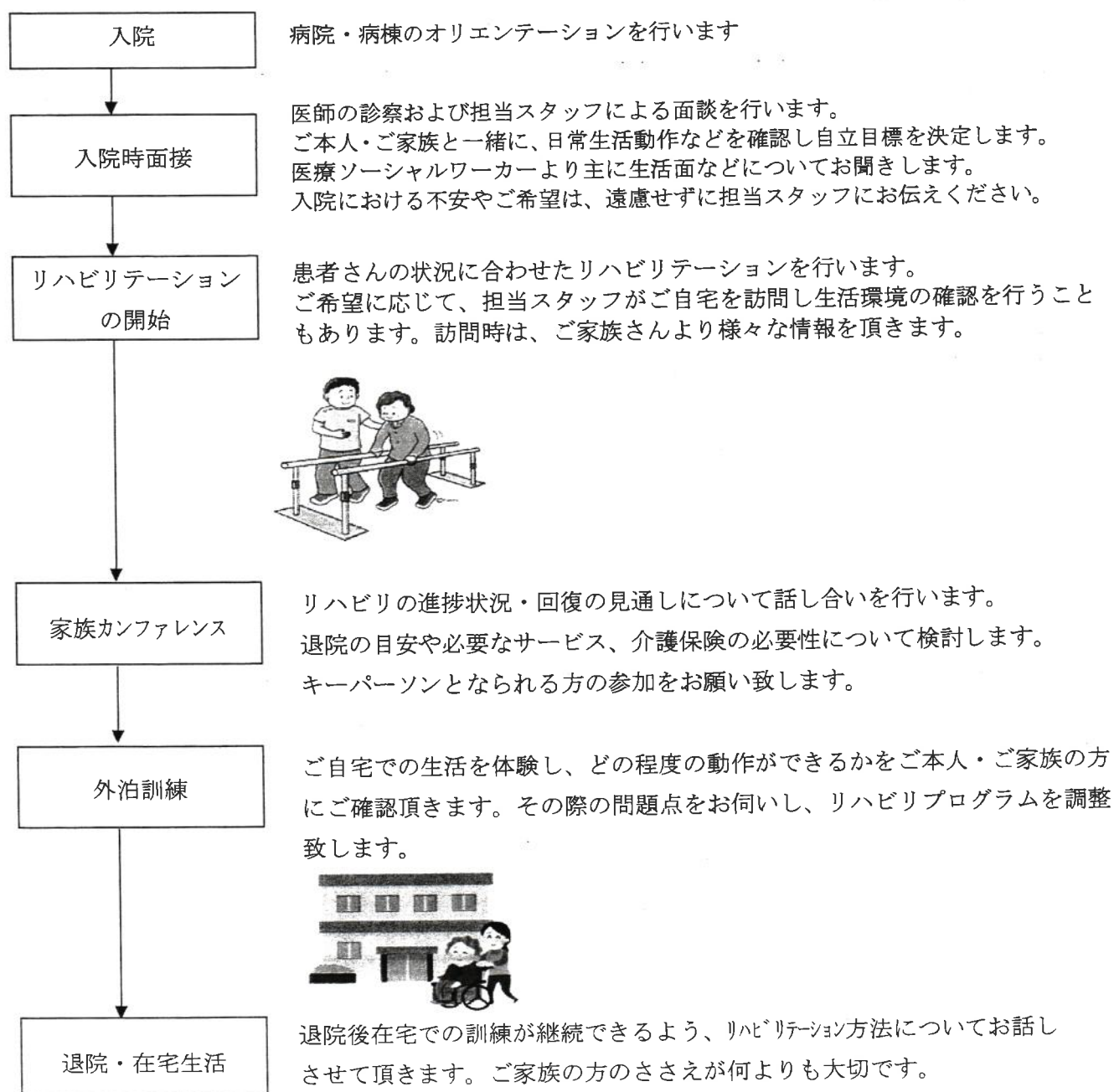
薬剤師 管理栄養士

必要に応じて、服薬や食事に関して相談をお受けします。

ソーシャルワーカー

在宅療養・リハビリテーション・退院後の生活に関すること等、様々な相談をお受けします。

入院から退院までの流れ



病院案内図



三春町立三春病院

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升蒔50番地

電話 0247-62-3131

FAX 0247-62-1128

ホームページ <http://www.hoshipital.or.jp>

メールアドレス miharu@hoshipital.or.jp